

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(地歴)科目：(地理A) 対象：(第1 学年 1 組 ～ 7組)

教科担当者：(1・2組・3組：石井 (印)) (4・5・6・7組：佐藤 (印))

教科の指導目標	学カスタンダードに基づき、基礎的・基本的な知識を再確認するとともに、それをもとに応用力を養い、さらに発展的な思考力や判断力の育成を図る。自然環境と人間社会との相互関係を理解させ、自然環境の持つ地域的性格と人間社会の発展過程などの歴史的背景を関連づけて学習することに重点を置いた指導を行う。
---------	--

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1. 基本的知識を問う問題は良くできている。 2. 地図やグラフを読み取る問題もほぼ理解はできているが、自身の言葉で表現する能力がやや低い。 3. 複雑な地理的な見方、考え方はやや低い。	1. 教科書の本文や写真等を活用し、基本的な知識を定着させる。 2. 地図帳の使い方を身につけさせ、生徒自身に必要な情報を調べられるようにする。 3. ICTを活用した授業を行う。実際の写真や映像を使用することで、生徒の興味関心を高めさせる。 4. 定期的にノートやワークシートを提出させることで生徒の取り組みや理解力を確認する。	1. ICT機器やワークシートを用いて基本的事項の確認と整理を行う。 2. 地図帳や資料集を活用し、学習内容の理解を深める。 3. 定期的に小テストを行い、学習内容の定着を図る。 4. 長期休業には課題や講習を実施する。 5. 自ら学ぶ自主課題を出すことで、興味関心が高い生徒の意欲をより高める。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			